

2019年度自己点検・自己評価報告書



学校法人 本山学園

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校

## 目次

1. 学校の教育目標.....	2
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画.....	2
3. 評価項目の達成及び取組状況.....	3
(1) 教育理念・目標.....	3
(2) 学校運営.....	5
(3) 教育活動.....	7
(4) 学修成果.....	9
(5) 学生支援.....	10
(6) 教育環境.....	12
(7) 学生募集と受け入れ.....	14
(8) 財務.....	15
(9) 法令等の遵守.....	16
(10) 社会貢献・地域貢献.....	17
(11) 国際交流.....	18
4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果.....	19

## 1. 学校の教育目標

学校法人本山学園（以下、本学園と記す）は、「豊かな人間性と創造力を養う」「自主の精神を養う」「国際的視野を養う」を建学の精神とし、人間教育に力を注ぎ、人を思いやる心を大切にし、人を幸せにする心を持つ、生活に密着した真の専門医療人を育成している。

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校（以下、本校と記す）は、学校法人本山学園のグループ校の1つで、2009年に歯科衛生士の養成校（修業年限3年）として開校した。同キャンパス内には、調理師と製菓衛生師を養成する西日本調理製菓専門学校、理学療法士と作業療法士、医療事務従事者を養成する岡山医療技術専門学校が在り、連携した教育体制により充実した医療・保健・福祉教育を行う環境が整っている。

本校の教育目的は、本学園の建学の精神のもと、学則第1条に規定しているとおり、「教育基本法及び学校教育法に基づいて、歯科衛生士に必要な専門知識や技術並びに、医療人として求められる人間性と社会性を備えた人材を育成することを目的とする。」である。それを具体化するための教育目標は、チーム医療の一員として口腔保健管理ができ、患者さまから信頼される歯科衛生士を育成することである。

## 2. 2019年度に定めた重点項目

### ①教育の質の向上と多様な教育の展開

学生が、歯科衛生士に必要な社会のニーズおよび歯科医療界の動向に合致した専門性の高い知識・技術の修得ができるよう、教育の質の向上と多様な教育の展開を図る。臨地・臨床実習施設の開拓や実習内容の強化、企業セミナーの実施、歯科医療・保健・福祉関係の学会や研修会への参加、教育機器の整備、専任教員の指導能力の向上、国際交流の充実、非常勤講師・実習施設・企業と連携した教育体制強化に取り組む。また、歯科衛生士国家試験の全員合格を目指し、国家試験対策、基礎ゼミ等による個別学習指導も強化する。

### ②学生支援の充実と強化

豊かな人間性と創造性を涵養する場として、基礎ゼミ活動、各種行事、学級活動、ボランティア活動等の充実を図る。専任教員と学生との関わりを密にし、保護者と連携を図り、学生生活を健全に送ることができるよう学生サポートを強化する。また、経済面においても、本山学園の奨学金制度により支援する。

### ③学生確保

アドミッションポリシーに則して、広報入試チームと専任教員が連携を取った戦略的な広報活動を行い、志願者を増加させ入学定員を確保する。オープンキャンパスの内容強化、高校訪問、進学・校内ガイダンスの実施、校内職業ガイダンス講師派遣、学校見学の受入れ、高校教員対象の公開授業、ソーシャルメディアを活用した情報発信の広報活動などに力を入れる。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価基準を次の通りと定め、各評価項目の達成について評価するとともに、取組状況についての概要、課題、今後の対策、特記事項について記載する。

評価基準
5. きわめて進んでいる 4. かなり進んでいる 3. 進んでいる 2. やや進んでいない 1. ほとんど進んでない

#### (1) 教育理念・目標

##### 【概要】

本学園の建学の精神は、「豊かな人間性と創造力を養う」「自主の精神を養う」「国際的視野を養う」である。本校の教育目的・教育目標は、建学の精神に則って定めている。本校の教育目的は、「教育基本法及び学校教育法に基づいて、歯科衛生士に必要な専門知識や技術並びに、医療人として求められる人間性と社会性を備えた人材を育成することを目的とする。」であり、学則第1条に謳っている。本校の教育目標は、チーム医療の一員として口腔保健管理ができ、患者さまから信頼される歯科衛生士を育成することである。

本校の理念・教育目的・教育目標は、「入学案内」「学生便覧」「ホームページ」に掲載し、受験生に対しては、オープンキャンパス、夜の学校説明会、キャンパスツアー、進学ガイダンス、校内ガイダンス、学校見学で説明している。学生には、入学前オリエンテーション時に、保護者には、保護者説明会や保護者会で説明を行い、周知を図っている。

評価項目	評価結果				
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	⑤	4	3	2	1
学校における教育の特色は明確か	⑤	4	3	2	1
学校の将来構想を抱いているか	⑤	4	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像などが学生・保護者等に周知されているか	⑤	4	3	2	1

#### ① 課題

建学の精神、教育目的、教育目標を堅持しつつ教育水準を向上させ、社会のニーズに呼応した有益な人材育成に取り組む。同キャンパス内には、西日本調理製菓専門学校と岡山医療技術専門学校が在り、連携した教育体制により充実した医療・保健・福祉教育を行う環境が整っている。2020年度には、岡山医療専門職大学が開学するので、大学とも連携した教育体制を整備し、さらに専門職の養成校として教育の質を向上させる。また、保護者等に対し、学校の理念・目的・育成人材像等についてさらに周知を図る。

#### ② 今後の改善方策

本学園の設置校と連携した教育体制を整備する。教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会などの歯科医療界の有識者や非常勤講師、臨地・臨床実習施設関係者、職能団体からの意見聴取し、現行カリ

キュラムの見直しを行い、社会の要請に即応した実践的な歯科衛生士養成機関として、本校の教育環境・体制も含めて新カリキュラムを立案し申請を行う。新カリキュラムを立案することで、本校の特色をさらに明確に打ち出し、社会にアピールしていく。

また、保護者説明会や保護者会に参加できない保護者もいるため、定期的に「学校通信」として紙媒体等で、学校の理念・目的・育成人材像や本校の教育内容等を保護者あてに発信する。

### ③特記事項

特になし

## (2) 学校運営

### 【概要】

本学園の運営体制は、「学校法人本山学園寄附行為」に基づき「理事会」、「評議員会」を設置、「監事」を選任して行っている。予算・事業計画、決算・事業報告等、法人の管理運営に関する重要事項について、「理事会」を議決機関、「評議員会」を諮問機関として審議を行い決定している。「理事会」は、学園の最高意思決定機関として機能し、理事長が学校法人を代表し、その業務を総理している。

運営方針は、理事会で決定し、学事運営は、学校長が主宰する「全体会議」で審議・決定している。本学園内の学校間の情報共有、共通問題の審議は「学園連絡会議」で行われている。就業規則、賃金規定、人事評価規程が整備されており、健全な運営体制にある。

その他、「教務委員会」「教育課程編成委員会」「学校関係者評価委員会」「自己点検評価委員会」「防火・防災実務委員会」「ハラスメント委員会」「学園祭準備委員会」「研究倫理委員会」「安全衛生管理委員会」があり、教育・学校運営を行っている。

また、職業実践専門課程認定校としてあらゆる情報を公開している。教育活動等の情報は、パンフレット、ホームページ、facebook、LINE、Twitter等で公開している。学内の情報伝達は、学園内のイントラネットが整備され、掲示板の活用により本学園の法人事務局や設置校との横断的な連絡調整・情報の共有化が図られている。基礎ゼミ活動やクラス担任による面談やアンケート調査により、学生の要望・意見を情報収集し、学校運営に反映させている。

評価項目	評価結果				
目的等に沿った運営方針が策定されているか	⑤	4	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	⑤	4	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	⑤	4	3	2	1
人事、給与に関する規則等は整備されているか	⑤	4	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	⑤	4	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	⑤	4	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5	④	3	2	1
学生の要望や意見を反映した学校運営がなされているか	⑤	4	3	2	1

### ① 課題

学園内のイントラネットが整備され、新たにシステムの導入を計画していたが、当面は2020年度開学の同学園内の大学のみでの運用となった。大学での運用状況を確認しつつ、本校での導入も検討する。

### ③ 今後の改善方策

ポータルサイトの開設やシステム導入により、学園内外においてスピーディーな情報の共有化、双方向コミュニケーションの場を設けることができるよう計画する。外部からの情報共有のためには、個人情報保護を踏まえたセキュリティの強化を図る。

また、学生の要望や意見の情報収集のために、引き続きオフィスアワーの時間の確保と学生生活満足度調査を実施する。

### ③特記事項

なし

### (3) 教育活動

#### 【概要】

教育基本法および学校教育法に基づき、厚生労働省の指定規則に従って、カリキュラムを組み立てている。1年次は基礎分野科目・専門基礎分野科目、2年次は専門分野科目、3年次は専門分野科目と選択必須分野科目に重点をおいて編成し、1年後期より臨床実習を段階的（見学・実践・臨床能力獲得）に実施している。1年次の早期段階において歯科医院で見学実習を行うことで、専門分野科目への学習導入と歯科衛生士業務を理解させる。2年次には前後期通年で臨床実習を行うことで、学内での専門分野科目や実習科目の理解度を高める。3年次は臨床・臨地実習や国家試験対策により、国家試験に合格できる実力鍛錬と臨床能力の習得に努める教育課程を編成している。また、学内における実習・演習科目は、少人数制やチーム・ティーチングスタイルをとることにより、きめ細かな指導が行えるように工夫をしている。進級・卒業・実習判定基準について、学則・学生便覧・内規・実習要項により明示している。

教員には、自己研鑽を推進し、教員研修計画のもと歯科医療・保健・福祉・教育関連の学会・研修・講習への参加をすることで、教員の資質向上を図っており、教育に寄与している。

外部関係者の評価としては、臨床実習指導者連絡会議を年3回、教科担当者連絡会議を年1回実施し、本校の教育体制、教育内容について評価や助言を受け、次年度の教育に反映させている。また、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会を設置し、外部有識者からの意見を教育課程等に反映させている。学生による授業評価については、授業の最終回に実施し、教育に反映させている。

評価項目	評価結果
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	⑤ 4 3 2 1
教育理念、養成人材像や業界のニーズに照らして、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	⑤ 4 3 2 1
学科等のカリキュラムは関連分野のニーズに照らして体系的に編成されているか	⑤ 4 3 2 1
関連分野の医療施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	⑤ 4 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	⑤ 4 3 2 1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	⑤ 4 3 2 1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	⑤ 4 3 2 1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	⑤ 4 3 2 1
人材育成目標の達成に向け授業が行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	⑤ 4 3 2 1
関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組が行われているか	⑤ 4 3 2 1
教職員の能力開発のための研修等が行われているか	5 ④ 3 2 1



### ① 課題

現行のカリキュラムは、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会など医療界の有識者や臨地・臨床実習施設関係者からの意見をもとに立案し、超高齢社会に対応すべくリハビリテーション分野を充実させている。現行カリキュラムの教育効果等について、教育課程編成委員会の外部の有識者や非常勤講師ならびに臨床実習指導者より意見を聴取している。さらに意見を聴取し、現行カリキュラムの見直しを行い、新カリキュラムを立案する。

教員の自己研鑽については、学会・研修会で得た知見を教育に活かした。次年度においても、教員に対して、学会・研修への参加や研究活動を推進し、教育力の向上に努める。また、本年度は専任教員認定歯科衛生士取得1名、大学院進学1名という結果を得ている。学会・研修会で得た知見は、教員間で報告を行い共有しているが、FD研修会を開催できなかったため、次年度は必ず開催することが課題である。

### ②今後の改善方策

新カリキュラムを立案する基本資料として、非常勤講師および学生を対象に、科目構成、内容、時間数、開講時期、科目選択等についてアンケート調査を行う。大学開学に伴い、本学園の設置校との連携した教育体制を再編し、学外関係者からの意見を取り入れながら、資格取得に向けた効果的な教育を実践し、社会の要請に即応した専門的・実践的な教育機関としての新カリキュラムを立案する。

教員の研修については、引き続き研修計画に立て、専門性と教育力向上のための先端的かつ実践的な知識・技術を修得し、教員の能力開発を進めることで、より効果的で質の高い教育が実施できる体制を構築する。FD研修については、年2回実施する。

また、2019年度3月中旬より新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため教科担当者会議や実習指導者連絡会議の中止、臨地実習の中断・中止、臨床実習の中断・延期、臨時休校となっているため、例年以上に非常勤講師と臨床実習施設の指導者と情報の共有化を行い、緊密な連携を図る。さらに、ICTを活用した教育環境の整備を行う。

### ③特記事項

特になし

#### (4) 学修成果

##### 【概要】

歯科衛生士国家試験合格率 100%を目指し、専任教員と非常勤講師の連携のもと国家試験対策補講の実施、業者による特別対策講義（国試解説講座、夏期基礎対策講座、ファイナルアタックセミナー）、業者模擬試験の最大限の実施、過去問対策課題、グループ・個別補講、個人面談や卒業生の国試サポーターの導入など対策を講じてきた。その結果、現役者、既卒者ともに受験者全員が合格し、合格率 100%（全国平均 94.3%）を達成することができた。就職については、就職希望者全員の就職先が決まり、就職率は 100%であった。退学率については、クラス担任・基礎ゼミ担当者の W サポート体制で学生指導を丁寧に行い、個別対応を強化し、保護者と綿密に連携をとることで退学率低減を図っているが、やむ得ぬ事情や進路変更等で、7.8%（手続き完了者）であった。卒業生・在校生の社会的な活動及び評価については、就職先の歯科医院からの情報や各期の連絡網などで把握できている。

評価項目	評価結果				
就職率の向上が図られているか	⑤	4	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	⑤	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	5	④	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	⑤	4	3	2	1

##### ① 課題

継続して資格取得率が 100%となるよう教育環境・体制を強化する。また、退学率の低減を図るためにさらなる取り組みが必要である。

##### ② 今後の改善方策

教育環境・体制を強化するうえで、同キャンパス内の 2020 年度新設の大学とも連携を図る。また、資格取得に向けた効果的な教育を実践するため、現行カリキュラムを見直し、新カリキュラムを立案する。国家試験対策については、9 期生が受験した歯科衛生士国家試験の結果（正解率）の分析を行い、本校の弱点と出題傾向について分析し、各教科担当者と情報を共有し、連携した国家試験対策を計画する。国家試験対策補講の回数を増やし、自宅学習用の教材も新に作成する。学力の遅れや学習意欲、心理面においてクラス担任と基礎ゼミ担当の W サポート体制で現行どおり継続して行い、必要に応じては、カウンセリング室の利用を促し、臨床心理士による精神的ケアを行う。

退学率の低減を図るために、入学前より職業意識を高めるための入学前学習会の実施、キャリア教育の強化、クラス担任・基礎ゼミ担当者の W サポート体制での学生個々に応じた学生指導、高等教育の就学支援制度による経済的支援の強化を行う。

##### ③ 特記事項

特になし

## (5) 学生支援

### 【概要】

就職に関する支援では、就職担当・クラス担任・基礎ゼミ担当で就職活動の支援を行っている。相談・援助を行い、就職希望調査（求職票）や個人面談、求人情報配信、履歴書の書き方、就職面接対策などの支援を行っている。また、外部講師による就職セミナーや専任教員による就職ガイダンスを実施している。

学生相談体制は、役職者、クラス担任、基礎ゼミ担当者、事務職員のそれぞれが役割を分担し、組織的に機能している。また、カウンセリング室を設置し、臨床心理士の専門家による個別相談（希望者）も行っている。

健康管理については、年1回の健康診断を実施している。また、1年生には、日本環境感染学会の院内感染対策としてのワクチンガイドラインに沿って、B型肝炎・麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘の抗体検査を行っている。抗体のない学生に対して、ワクチン接種の必要性を説明し、B型肝炎のワクチン接種は学内で集団接種を行い、その他のワクチン接種については、かかりつけ医で接種するよう指導している。結核検査として1・2年生には胸部エックス線写真撮影を行い、さらに2年生にはT-SPOTテストも実施している。全学年対象にインフルエンザ予防接種も実施している。

学生の健康管理・学生生活支援の一環として朝食サービスや国際的視野を養うための一環として、ネイティブ講師による実践英語レッスン（無料）を実施している。また、学園全体で行う七夕イベント、学園祭、節分行事の他、学校行事として、新入生歓迎研修会、企業研修旅行、基礎ゼミ対抗スポーツ大会、基礎ゼミ交流会、卒業研究・国際歯科医療研究発表会を実施している。保護者については、入学時の保護者説明会、保護者面談、保護者会を行い、必要に応じて保護者に連絡するなど緊密な連携を図っている。

経済的支援としては、本山学園奨学金（1年次）、親族割引奨学金（1年次）、成績優秀者奨学金（2・3年次）、キャリアアップ支援奨学金（社会人対象）、経済支援奨学金（市町村民税非課税世帯）がある。また、日本学生支援機構奨学金、岡山県私学振興財団奨学金等の手続きサポートや経済状況に合わせた分納などによりきめ細かく対応している。卒業生については、歯科衛生士としての日常業務の相談、技術指導や再就職・復職支援も行っている。

評価項目	評価結果				
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	⑤	4	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	⑤	4	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	⑤	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	5	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	⑤	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	⑤	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	⑤	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	⑤	4	3	2	1

### ① 課題

就職については、求人件数 25.1 倍と求人件数も多く比較的良好に決まり、開校以来就職率 100%である。次年度も引き続き、就職率 100%となるよう支援していく。

保健室利用が 3 校共同だったが、学園内に新たに医務室が増設されたので、さらに学生の健康管理を担う組織体制を強化する。

### ③ 今後の改善方策

医務室に学生の健康管理を担う常駐する有資格者を配置予定である。また、経済支援については、2020 年度より「高等教育の修学支援新制度」が施行されるので、その申請サポートも行う。

### ③特記事項

特になし

## (6) 教育環境

### 【概要】

歯科衛生士養成所指導ガイドラインにより、施設・設備が整備されている。教育上必要な機器・材料や図書等の教材関係は、年間を通じて適宜充足させ、教育環境を整備している。本年度は、口腔機能評価等に用いる検査機器（口腔水分計、口腔機能測定器、舌圧測定器、吸引器、小児用聴診器）の新設とバイタル計測機器（パルオキシメーター、体温計）を増設した。

学外の実習においては、臨床実習指導者連絡会議を3回開催し、学校と実習施設との教育体制について連絡・調整を行っている。岡山大学病院では、受託実習生校の全校が集まり、連絡・調整が行われている。

防災については、学校法人で組織体制が作られており、法定に基づき年3回防災訓練を行っている。また、災害に備え、学園で備蓄を行っている。学園内にはAED（自動体外式除細動器）を設置しており、学生には消防署で救命講習を受講させている。

図書については、医療（特に歯科医療）・保健・福祉・栄養・調理関係の書籍、教養関係の書籍、医療・保健・福祉関係の雑誌等を蔵書する図書室を12階に設置している。本年度は、新館に大学の図書館が新設され、本校の学生は申請により利用することができる。また、12階の図書室には新たに個人ブース型の自習スペースを整備し、学習環境を整えた。

評価項目	評価結果				
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	⑤	4	3	2	1
学外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか	⑤	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	⑤	4	3	2	1
図書など教育上必要な資料が系統的に整備されているか	⑤	4	3	2	1

### ①課題

本年度から、12階の図書室は西日本調理製菓専門学校との共有スペースとなったため、栄養・調理関係の図書も設置することとなったため、さらに図書管理を強化する。

また、新刊雑誌等の購入により冊数が増えているが、保管スペースが限られているので古い雑誌等を点検し整理する。防災体制については、学園の増改築に伴い、建物の構造が変わった箇所があるため、避難経路や集合場所等の見直しが必要である。また、2020年度の大学開学に伴い、学園の教職員の構成も変化するので、防災組織の見直しも必要である。

### ②今後の改善方策

図書は統計的に分類・整備し、教員と学生図書委員で毎年蔵書点検を行っているが、大学の図書館新設により図書館司書が配置されたので、今後は、12階の図書室の図書管理について専門職の司書に助言をお願いする。防災については、火災や自然災害の発生時に、防災組織・防災設備が有効に機能するよう、防火・防災実務委員会で、現状（防災組織、建物の構造、防災設備、備蓄等）把握し、震災時の地

域住民受け入れも含めた防災マニュアルを整備し、自衛消防組織の再編と防災訓練の年間計画の立案、定期的に防災設備等の点検と避難訓練を行う。

③特記事項

特になし

## (7) 学生募集と受け入れ

### 【概要】

学生募集活動は、パンフレット（学校案内・募集要項）やホームページ、SNS（facebook やLINE、Twitter）、高校訪問、進学ガイダンス、オープンキャンパス、夜の学校説明会等を通じて本校の教育目的や学科紹介、教育の内容や学生生活の様子などを情報発信し、アドミッションポリシーの提示と教育成果についても正確に伝え、適正に行っている。入学選考は、AO入試、指定校推薦入試、推薦入試、一般入試を実施し、本校の基準により選考を行い、入試判定会議にて可否を決定している。

本校は、岡山県唯一の男女共学校で留学生の受け入れ体制も整備しており、県内だけでなく他県の歯科医院とも臨床実習施設として協定を結んでおり、学生の受け入れを幅広くできる体制が整っている。

評価項目	評価結果				
学生募集活動は、適正に行われているか	⑤	4	3	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	⑤	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	⑤	4	3	2	1

### ①課題

18歳人口の減少に伴い、歯科衛生士養成校の入学定員充足率も全国的に減少となっている。本校においても例外ではない。歯科衛生士の職業理解のための事業の実施や本校の教育内容や学生の受入体制を明示し学生募集活動を行っていく。

### ②今後の改善方策

学生募集活動を強化するために、本学園の広報チームと連携をとった戦略を立て、オープンキャンパスや進学ガイダンス等から得た情報を共有化し、高校生一人ひとりに教職員が連携してきめ細やかな個別対応ができるよう体制を整える。また、本校の教育内容や学生の受入体制について、アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを提示し、オープンキャンパスや高校訪問や進学ガイダンス等で高校生や高校教員に積極的に紹介・説明する。2020年度は入試改革に伴う高校生の入試に対する不安を軽減する意味でも、入試説明会の回数を増やし、実践的メニューを加えて実施する。

### ③特記事項

特になし

## (8) 財務

### 【概要】

予算、収支計画は過去の実績に基づいた積み上げ方式を採用しており、有効に機能している。流動比率は、帰属収支差額比率ともに優れた比率を示しており、財務基盤は良好である。会計監査は、私立学校法第 37 条および学校法人の寄附行為第 18 条に基づき、学校法人全体として監事および公認会計士が行い、監査報告書を理事会および評議委員会に提出している。また、財務に関する情報は、ホームページ上で資金収支計算書、貸借対照表、事業活動収支計算書、監査報告書を公開している。

評価項目	評価結果				
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	⑤	4	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	⑤	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	⑤	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	⑤	4	3	2	1

### ①課題

今後、18 歳人口の減少や高等学校卒業後の就職率の上昇など外部要因の変動を考慮し、財政基盤を安定させる。

### ②今後の改善方策

財務基盤の維持・安定ためには、経費率の検討と定員の充足および中退者の低減を図る。

### ③特記事項

特になし



## (9) 法令等の遵守

### 【概要】

法令ならびに厚生労働省が定める指定規則を遵守し、学校運営を行っている。個人情報保護については、入学前オリエンテーション時と臨床実習前に、文書および口頭による説明を行い、個人情報保護誓約書等の書面を交わし、学生に意識づけを徹底して行っている。さらに、本学園のインターネットによる誹謗中傷行為に対する懲戒規定をもとに学生指導も行っている。また、自己点検評価報告書および学校関係者評価報告書をホームページ上で公開している。

評価項目	評価結果				
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	⑤	4	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	⑤	4	3	2	1
自己点検・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	⑤	4	3	2	1
自己点検・自己評価を公開しているか	⑤	4	3	2	1

### ①課題

自己点検評価における課題や学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、臨床実習指導者連絡会議から頂いたご意見をもとに、次年度に向け事業計画を立てている。また、自己点検評価委員会において評価項目や評価基準について検討を行い、改善している。引き続き、自己点検評価の課題を抽出し、外部の関係者・有識者から頂いたご意見も積極的に学校運営に取り入れる。

### ②今後の改善方策

自己点検評価における課題や外部の関係者・有識者から頂いたご意見について、学内各種委員会や全体会議にて検討する。

### ③特記事項

特になし

## (10) 社会貢献・地域貢献

### 【概要】

本年度は、学生ボランティア活動として、1年生と教員で年2回、基礎ゼミ活動として2年生と担当教員で年3回の地域クリーン活動や学生有志と教員でチームを組み、おかやまマラソンの給水給食係としてボランティア活動を行った。また、「出前講座」として岡山県内の希望する高校を対象に歯科医療に関する学習の機会を提供している。本年度は、吉備中央町御北小学校に歯っぴースタディの歯科保健指導として講師と学生選抜者の派遣、岡山県赤十字血液センターへの献血協力、日本赤十字社岡山支部の救急指導のボランティア活動、一般社団法人岡山県歯科衛生士会の支部活動に関わるなど、社会貢献・地域貢献に努めた。

評価項目	評価結果				
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	⑤	4	3	2	1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	⑤	4	3	2	1
地域に対する貢献を積極的に実施しているか	5	④	3	2	1

### ①課題

学校の教育資源活用した社会貢献・地域貢献の企画を立てる。

### ②今後の改善方策

本校の特性と教育資源を活用した公開講座を開催する。また、「出前講座」「高専連携授業」にも積極的に取り組む。

### ③特記事項

特になし

## (11) 国際交流

### 【概要】

中国の中国医科大学と大連医科大学との友好協議のもと、教育、医療、学術研究および学生交流等の領域で友好交流を行っている。本校として、留学生に対する規定を整備し、留学生を受け入れている。

本年度は、「国際歯科医療研究」履修者には、国際交流および最先端の歯科医療を学ぶため海外研修を実施した。ハワイ大学歯科衛生士科を卒業し活躍している歯科衛生士の講義を受講、ハワイの歯科医院の訪問と歯科衛生士と歯科医師とのディスカッション、ドラッグストアの視察等を行った。

また、日常的には希望者に対し、国際的なステージの活躍を視野に入れ、国際コミュニケーション力を涵養するため一流ネイティブ講師による「実践英語レッスン」を実施している。

評価項目	評価結果				
国際的視野・感覚を養うための取り組み等を行っているか	5	④	3	2	1
留学生の受入れ・派遣について行う体制があるか	5	④	3	2	1

### ①課題

校名にある“インターナショナル”を活かす工夫や国際交流・国際貢献のできる教育システム・環境を強化する。

### ②今後の改善方策

新カリキュラム立案時に、国際交流・国際貢献に関連する内容を組み込む。

### ③特記事項

特になし

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本校は、教育理念、教育目標および学園の建学の精神に照らして、学校運営、教育活動を行い、毎年、年度初めに重点的に取り組むことが必要な目標や事業計画を立案し、その結果について自己点検評価を毎年実施している。学校が取り組む課題を明確にし、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、臨床実習指導者連絡会議、教科担当者会議等で得られた意見を積極的に取り入れ、次年度の改善に繋げる組織的取り組みは成果を上げている。また、自己点検評価により教員間相互の問題認識が統一され、教育・運営面で活発な意見交換の場を持ち、改善に繋げていることは評価できる。さらに、今後も継続して自己点検を行い、実践的な歯科衛生士養成機関として、今以上に組織的・機動的な学校運営の改善や教育活動の向上に努める。この自己点検評価報告書は、今後ホームページ上での公表を前提に、適切な方法を確認しながら積極的に公表する。